

下野市行政評価市民評価について

1 下野市における行政評価市民評価の目的

下野市における行政評価の市民評価は、市民協働の一環として事務事業評価に市民が参画することを目的としています。

市が一定の基準（対象事業の必要性、熟度・緊急性、効率性等）で評価した結果について、「市民感覚と乖離していないか、現状を肯定する甘い評価となっていないか」などの“市民の感覚、視点”に照らし合わせて妥当かどうかを評価するものです。

2 下野市における行政評価市民評価の特徴

下野市では、行政評価制度を予算、人員などの経営資源の配分、事業の取捨選択、優先度の設定などを行う際の重要なツールとして位置づけ、事業実施前に事務事業を評価し、事業の推進方針を決定しています。

行政評価市民評価では、庁内で決定した事業の推進方針の妥当性（3つのランク）について、評価プロセスの必要性、熟度・緊急性、効率性などの観点を加え、行政改革推進委員会において多数決により評価を決定しています。

事業推進方針の3つのランク

- ①積極的に推進する事業、計画どおり実施する事業
- ②事業内容を見直しながら実施する事業
- ③当面実施しない事業、廃止・休止する事業

3 市民評価の対象

市民評価の対象事業は、総合計画基本計画に計上した事業、事業費が大きい事業、一般財源が多額な事業、予算の伸びが顕著な事業などから、10事業を選定します。

- ① 総合計画基本計画に具体的に位置づけられている事業、その事業と明らかに直結的な事業
- ② 平成26年度の事業費（予算額）が原則500万円以上の事業
- ③ 法令等で義務付けられている事業や政策的な判断を伴わないなど、市としての裁量の余地が少ない事業は対象外

4 評価（ヒアリング）の視点

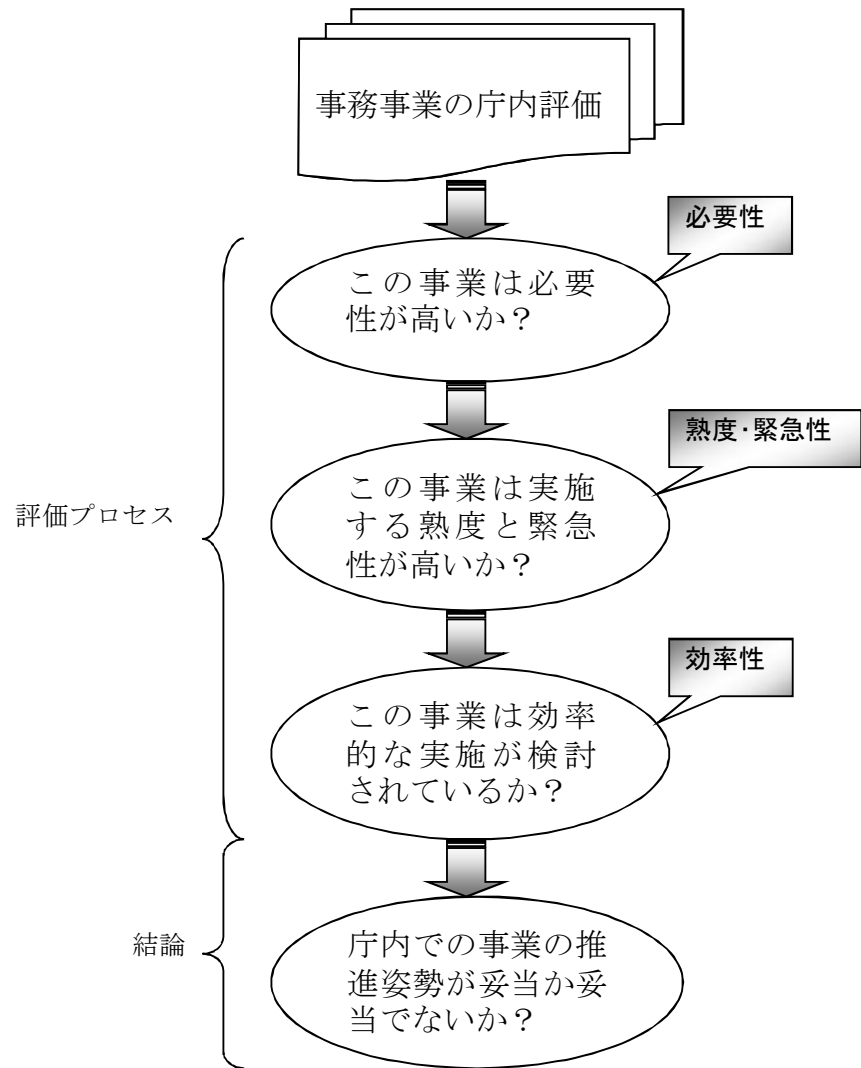
市が実施した内部評価（事業推進方針）の妥当性を評価するため、事業ヒアリングを実施し、庁内での評価プロセスである「必要性、熟度・緊急性、効率性」の「高い、低い」などの評価について1つずつ評価し、結論を導き出します。

- 必要性：① この事業は総合計画に明確に位置づけられていると言えるか。あるいは総合計画の基本方針や施策に合致していると言えるか。
② 多くの市民や地域社会から、この事業の実施が求められるような要請があると認められるか。

- 熟度・緊急性：① この事業を計画どおりに進める環境が整っていると言えるか。
② この事業を実施しなかった場合、市民の生活に急激かつ重大な影響を与えると言えるか。

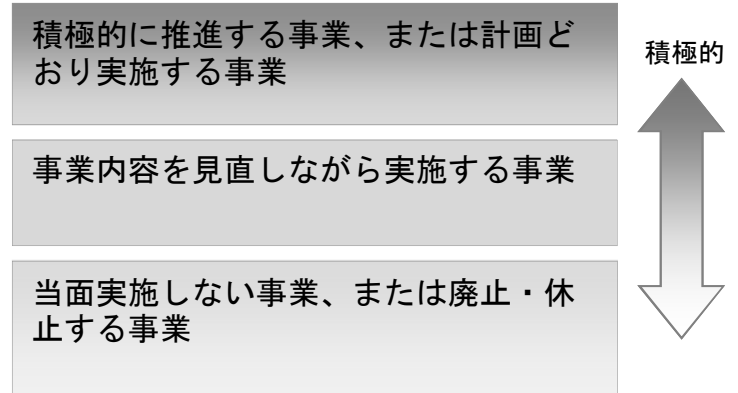
- 効率性（見直しの余地）：
① 受益対象者の規模が適正であるか検討していると言えるか。
② 他事業との統合や連携などの工夫ができないか検討されていると言えるか。
③ 民間に委託したほうが品質やコスト面で優れているか。また、民間事業者に委託できる環境があるかどうか検討していると言えるか。

《評価視点イメージ》



【事業の推進方針】

事業推進方針の3ランク



5 評価の方法

- ①行政評価市民評価ヒアリング資料に基づき、担当部・課長、総合政策課等とのヒアリングを実施します。
- ②委員は、評価プロセスに沿って、必要性、熟度・緊急性、効率性の観点から、庁内評価（推進方針）の妥当性を判断し、総合評価として4つの区分に分類します。
- ③ヒアリング及び委員評価実施後、委員による協議を行い、意見の集約を図った上で評価結果を取りまとめます。

《4つの区分》

区分	内 容
I	妥当である。
II	おおむね妥当である。
III	やや妥当とは思われない。 (市評価が高すぎる。) (市評価が低すぎる。)
IV	妥当とは思われない。 (市評価が高すぎる。) (市評価が低すぎる。)

6 評価結果の取りまとめ

市民評価の結果について、報告書として取りまとめます。

◇ 報告書の構成 ◇

- 1 はじめに
- 2 評価の対象
- 3 評価の視点
- 4 評価結果
 - (1) 総括表
 - (2) 事務事業別
- 5 来年度以降の行政評価の運用改善に向けた意見

7 意見の反映

事務事業評価に対する意見は、市において翌年度以降の事業実施及び内部評価等に際し参考にするとともに、市民評価のプロセスで得た意見は、翌年度以降の行政評価の運用改善にもつなげることにしています。

8 意見の公表

市民評価の結果について、市ホームページで公表します。

平成25年度 行政評価市民評価 ヒアリング資料

事務事業名	地域情報化推進事業		所管部課	総合政策部	総合政策課
意 図	地域情報化による市民サービスの向上には、市民参加型の情報化推進体制が必要であり、地域情報化推進会議を運営することで、市民本位の情報化が推進される。 また、インターネットを利用した市民向けアプリケーションサービスの展開により、市民から市役所へ、市役所から市民へ、市民から市民への情報の伝達を迅速化・活性化させ、市の一体化の醸成を進める。そのほか、市外への情報				
事業概要	第二次地域情報化計画の策定・維持管理、市民向けサービスの提供				
事業内容	必要性	総合計画での位置づけ 位置づけられている。 根拠法令等 章 6 市民と行政の協働による健全なまちづくり 節 1 協働のまちづくりの推進 施策 3 市民と行政との協働共有			
	熱度・緊急性	事業種別 <input type="radio"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設整備や基盤整備等の建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> 設計や不動産等、施設整備や基盤整備等の建設事業の準備段階で行われるもの			
	熱度・緊急性	新規・継続 継続 (事業概要) ・情報化本部会議及び地域情報化推進会議の運営 ・地域イントラネット(光ファイバー)の維持管理 ・市民向けアプリケーションの運用 ・第二次地域情報化計画の進捗管理			
	効率性	地域情報化推進事業 (合計) 154(報酬)、84(研修費)、3(食料費)、90(負担金) ①地域情報化推進会議の運営等 331 光ファイバー-支障修繕等修繕費 5,500 ②地域イントラネットの維持管理 19,898 光ファイバー及び通信機器保守委託料 6,988 光ファイバー-電柱共用等増上料 6,673 光ファイバー-予備確保増上料 737 ③市民向けアプリケーション 9,129 メール配信システム委託料・増上料 1,941 かんたん申請システム増上料 882 地域活動支援システム増上料 1,292 施設予約システム増上料 2,457 いにしえ発見関連システム 委託料・増上料 2,557 ④情報アドバイザー 11,340 PC設定、映像編集、アプリケーション使用に関する相談対応			
事業内容	市の関与のあり方	実施主体			
事業量・頻度	①地域情報化推進委員会 ②地域イントラネットの維持管理 光ファイバー網 117km、公共施設50箇所、道の駅・JR3駅、屋外拡声器03箇所 ③市民向けアプリケーション ・メール配信システム 市役所からの防災、防犯、行政情報の提供と保護意識啓発メール ・かんたん申請システム 個人認証を必要としない市民からの申込等に活用 ・地域活動支援システム 市内の各種団体が自ら情報発信 ・施設予約システム 公民館・スポーツ施設の予約管理 ・いにしえ発見関連システム 公開GIS(地理情報システム)、携帯GPS(全球測位システム)、デジタルサイネージ ④情報アドバイザー PC設定、映像編集、アプリケーション使用に関する相談対応				
事業費(経費内訳)	平成25年度 予算(単位:千円) 平成26年度 事業費見込(単位:千円) 事務事業番号 439				
事業費	40,698	40,698			

担当課長による説明

左側には事務事業の実施内容が記載されます。
(担当部課より、部の中での位置づけや事業の内容について説明します。)

事業推進方針	積極的に推進する事業、または計画どおり実施する事業
	事業内容を見直しな
	総合政策課による説明
	当面実施しない事業、または廃止・休止する事業

事業推進方針判断に際しての3つの視点	
必要性	事務事業の必要性を判断する際には、当該事業が総合計画基本計画に明確に位置づけられているか、あるいは、この事業に対応した施策が明確に基本計画に記載されているか、また、総合計画基本計画の策定後に、当該事業の実施が求められるような社会経済情勢の変化があるかどうかを判断基準としています。 総合計画には、6章1節協働のまちづくりの推進、施策3「市民と行政との情報共有」に位置づけられています。 地域イントラネットデジタルバイド 右側には左側の事務事業の実施内容から、3つの視点(必要性、熱度・緊急性、効率性)による市の推進方針の判断内容が記載されています。 (担当課評価・総合政策課評価・行政評価委員会評価・総合評価で差異がある場合に説明します。)
熱度・緊急性	事務事業の熱度適しはあるか、継続するうえでを休止・縮小す 第二次地域情報化体制が重要で 情報化推進 等の業務を行っており、今年度からSE(システム・エンジニア)が派遣され、サーバーやシステム等に関するアドバイスを受けていますが、今後は、外部ICT(情報通信技術)アドバイザーとしての活用も考えています。 今後も、より多くの行政情報が伝えられるよう、運営体制・PR方法も含め、新庁舎の建設とも合わせて進めていきます。
効率性	事務事業の効率性の判断にあたっては、民間委託の拡大を図っているか、類似業務との統合を進めているか、経費削減に向けた改善・工夫を行っているかなどを判断基準としています。 システム開発・運用については、すでに民間委託を実施しており、これ以上の民間委託はできない状態です。 様々な整備を行った結果、年間4千万円程度の維持費がかかっている状態にあり、今年度から各イニシャルコストやランニングコストの削減を目的に、情報化投資アドバイザー業務を行っています。直接雇用(有識で企業を退職した人を嘱託員・臨時職員として採用)する方法もありますが、事業の継続性や保障面を考慮して、従来どおりの委託の形態をとっており、効率性についても十分に検討していると言えますので、効率性は高いとしました。

平成25年度 行政評価市民評価 委員個別評価シート [提出用]

事務事業名	〇〇事業	所管部課	〇〇部	〇〇課
事業推進方針	・・・〔例:積極的に推進する事業、または計画どおり実施する事業〕			

委員評価記入欄				
必要性	1	総合計画基本計画に明確な位置づけがありますか。	はい	<input type="checkbox"/>
			いいえ	<input type="checkbox"/>
	2	多くの市民や地域社会から要請がありますか。	はい	<input type="checkbox"/>
			いいえ	<input type="checkbox"/>
	⇒ この事業の必要性について、市の評価は妥当ですか。		妥当である	<input type="checkbox"/>
			妥当と思わない	<input type="checkbox"/>
熟度・緊急性	1	この事業が計画どおり進むような状況が整っているとと言えますか。	はい	<input type="checkbox"/>
			いいえ	<input type="checkbox"/>
	2	この事業を実施しなかった場合の影響が大きいですか。	はい	<input type="checkbox"/>
			いいえ	<input type="checkbox"/>
	⇒ この事業の熟度・緊急性について、市の評価は妥当ですか。		妥当である	<input type="checkbox"/>
			妥当と思わない	<input type="checkbox"/>
効率性	1	受益対象者の規模が適正かどうか検討していると言えますか。	はい	<input type="checkbox"/>
			いいえ	<input type="checkbox"/>
	2	他の事業との統合や他部署との連携などが検討されていると言えますか。	はい	<input type="checkbox"/>
			いいえ	<input type="checkbox"/>
	3	民間委託について、優位性と可能性が検討されていると言えますか。	はい	<input type="checkbox"/>
			いいえ	<input type="checkbox"/>
	⇒ この事業の効率性について、市の評価は妥当ですか。		妥当である	<input type="checkbox"/>
			妥当と思わない	<input type="checkbox"/>

委員記入欄

ヒアリング内容や資料等から、この委員個別評価シートの「必要性、熟度・緊急性、効率性」の3つの視点のそれぞれの項目「はい・いいえ」、「妥当である・妥当と思わない」を選択し、チェック欄(☑)に記入してください。

更に、この事務事業に対する委員個別の「評価」及び「評価意見」、「委員氏名」を記入しご提出願います。

行政評価市民評価					
評価	上段の3つの視点からの妥当性を総合すると	I	推進方針は妥当である。	<input type="checkbox"/>	
		II	推進方針はおおむね妥当である。	<input type="checkbox"/>	
		III	やや妥当とは思われ ない。	市評価が高すぎるため、やや妥当とは思われ ない。	<input type="checkbox"/>
				市評価が低すぎるため、やや妥当とは思われ ない。	<input type="checkbox"/>
IV	妥当とは思われ ない。	市評価が高すぎるため、妥当とは思われ ない。	<input type="checkbox"/>		
		市評価が低すぎるため、妥当とは思われ ない。	<input type="checkbox"/>		
評価意見					
事務事業番号	・・・	委員氏名			